

つながりたのしむ あそび集

- ここでは、市内保育所等から集めた実施例を紹介しています。園庭でできるあそび、近くの公園でできるあそび、遠足でできるあそび、様々なシチュエーションでの取組事例を掲載していますので、ぜひ参考にしてみてください。

自然のビンゴ…P.1、2、3
自然レストラン…P.4
葉っぱくらべ…P.4
むしめがね探検隊…P.5
さいころ色あつめ…P.6
3R大作戦…P.6

年長児交流会での実施例…P.7

自然のビンゴ
さいころ色あつめ
公園ありがとうの日

実施例（自然のビンゴ）

年齢	3歳児	人数	19人	季節	秋	場所	公園
----	-----	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・事前に、公園に下見に行き、実際に咲いている花などを入れた9マスのビンゴを両面で用意する。
- ・チームに分かれてチームの友達と一緒に、ビンゴカードにあるものを見つけ、見つけたらスタンプを押す。
- ・場所を変えて裏面のビンゴカードにあるものをチームで協力して探す。
- ・全部できたら終了。

◆子どもたちの様子

- ・ここにあるかもしれないと予測を立てて探す姿が見られ、見つけるとチームと一緒に喜ぶ姿があった。
- ・友だち同士、教えあう姿が見られた。

◆工夫したこと

- ・ビンゴカードには**実際に下見で発見したものの写真を掲載**した。これにより、チームみんなまで共有しやすくなった。

◆気づき

- ・個々で行うのであれば、**ふわふわしたものなど五感で楽しめるものを取り入れるとそれぞれの発見を楽しめるのではないか**と思う。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・5（とてもよく達成できた）
- ・いつもは好きなものにしかな興味を示さない子もいろいろなものを見つけて楽しむ様子があり、身近な自然に親しみをもち様子が見られていたから。



年齢	3,4歳児	人数	22人	季節	秋	場所	公園
----	-------	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・事前にビンゴカードを作成しておく。
- ・当日遊び方の説明をする。
- ・一人一枚のカードを持ち、公園内で探す。

◆子どもたちの様子

- ・ビンゴのルールが分かっていない子もいたが、書いてあるイラストや文字を見ながら探すことを楽しんでいた。
- ・年上児も一緒に散歩に行っていたこともあり、協力して探したり、**文字を読むのがまだ難しい子は助けてもらいながら進める姿もあり、異年齢児の交流の場**になっていた。

◆気づき

- ・同じお題のなかでも、色々な形や大きさがある事に気付く姿がみられた。
- ・**小さいものや香りなどの抽象的なお題を入れることで、自然を感じられる遊び**が出来た。

◆工夫したこと

- ・簡単なお題ばかりではなく、少し難しいお題を入れた。

◆課題

- ・持ち運びのしやすさを優先して、見つけたものを袋に入れるようにしてしまっただが、何のお題で見つけたものか分かりづらくなっていたため、仕切りケースを使用しても良かった。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・3（達成できた）
- ・普段から身近にある自然に触れて遊ぶ姿もみられていたが、今回は小さいものや香りなどの抽象的なお題を入れることで、より自然を感じられる遊びが出来た。

※「ねらい」は、つながりたのしむあそび集の各あそびのページに記載があります。

実施例（自然のビンゴ）

年齢	5歳児	人数	10人	季節	秋	場所	公園
----	-----	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・(ビンゴ当日の1週間前)ビンゴカードの説明をしながら色塗りや何を探すか知らせる。
- ・(説明の翌日から)ビンゴカードを使う当日まで散歩に行く度、どんなものが外にあるか探索活動をする。
- ・ビンゴカードを入れた鞆の説明や行うときの約束をし、自由に探索出来る環境を作り、各々探すものが何かを考えながら行う。
- ・皆で集まって見つけた物のマスにシールを貼る。

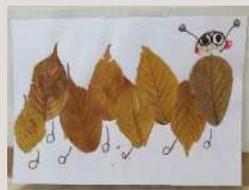


◆子どもたちの様子

- ・去年も似たような形で自然物を探すカードを作ったので、慣れた様子で行っていた。
- ・探しながら「これは丸いかな」「なんとなくチクチクしてる気がする」等、自分の思ったことを言葉にしていた。
- ・友達と見つけたりそうな場所を教え合う姿が見られた。
- ・ビンゴにならなくても見つけた喜びの方が大きいようだった。

◆工夫したこと

- ・見つけた時に貼るシールの色を変え、ビンゴカードを何回も使えるようにした。



◆その他

- ・見つけた物を使って制作を行った。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・4（よく達成できた）
- ・去年も似たような形で行っているのと、普段から自然物を探すのが好きな子ども達なので「ねらい」の達成度は高いと感じた。見つけながら1つ1つの物に対し感じたことを言葉にして友達と共有していた。

年齢	4歳児	人数	22人	季節	秋	場所	園庭
----	-----	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・一人一枚、9マスのビンゴカードを配る。カードに書かれている絵を使って、探すものの説明をする。
- ・園庭に出てそれぞれが探す。
- ・職員がシールを持ち、見つけたらシールを貼る。
- ・最後に感想を聞くなど、振り返りを行う。



◆子どもたちの様子

- ・それぞれが探していたが、見つからないものがあると、子ども同士で話し合い、「向こうにあったよ!」と教えあったり、「見て!」と一緒に見つけたりする姿がみられた。

◆気づき

- ・「虫があまりいなかったから難しかった」という意見から、どうしてだろうと皆で考え、「寒くてコタツに入ってる」「お家から出られない」など子どもたちなりに気候と結び付けて考えていた。

◆工夫したこと

- ・マスの中に、あえて分かりにくいものを入れ、子ども達の自由な発想を引き出した。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・4（よく達成できた）
- ・普段遊んでいる園庭であるが、改めて自然のものに目を向けることで、虫探しをしない子が虫を見つける楽しさを感じるなど、様々な発見がありよかった。
- ・友達同士で考えあったり、一緒に楽しんだりする姿が見られた。
- ・活動後の振り返りで、疑問に思うことを皆で考える良い機会となった。



実施例（自然のビンゴ -むしめがね探検隊の要素も加えて-）

実施例の中で一番人気の「自然のビンゴ」。こちらは、「むしめがね探検隊」をミックスした事例です。

年齢	4歳児	人数	12人	季節	秋	場所	公園
----	-----	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・事前に虫眼鏡を厚紙を使って制作する。
- ・マジックで自由に絵を描きオリジナルの虫眼鏡にする。
- ・9マスのビンゴカードを作成する。
- ・公園での遊び方を話す。
- ・公園に着いてから袋に入った1人1枚のビンゴカードと虫眼鏡を持ち、散策する。
- ・見つけた物は袋に入れておく。
- ・全員でベンチに座り、見つけた物のイラストに○印をつける。
- ・何を見つけたのか？ビンゴができたのか？子ども達に聞く。
- ・見つけた物は、家に持ち帰る。

◆子どもたちの様子

- ・自分で作った虫眼鏡を嬉しそうに持っていた。
- ・見つけると子ども達同士で「あったよー」などと声を掛け合う姿があった。
- ・見つけられない子に対して一緒に探す姿もあり、助け合っていたのには驚いた。
- ・見つけた物を袋に入れ、落とさない様にギュッと握りしめているのが印象的で時々、子ども達同士で落とさないかも確認していた。
- ・ベンチに座り、見つけた物を取り出してビンゴカードに○印をつける作業では、友達と会話をしながら楽しそうにしていた。

◆気づき

- ・枯葉は色を決めなかった事により、赤や黄色、茶色など様々だった。「こっちの枯葉にする」などとそれぞれ再度探しに行く姿が見られた。

◆工夫したこと

- ・ビンゴカードを作成する際に、マスの中心に園の Mascot を入れ、必ずビンゴができる様にした。

実施内容

◆その他

- ・11月下旬に実施したためか自然物が例年より少なく感じた。ひとつの公園だけでなく他の公園でも行くと、もっと色々な自然物を見つけられ楽しめたのかもしれない。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・4（よく達成できた）
- ・初めての経験だったが自分のオリジナルの虫眼鏡を持ち、友達と協力する姿が多く見られた。
- ・見つけることの楽しさを感じられた。



実施例（自然レストラン）

年齢	4歳児	人数	12人	季節	秋	場所	園庭
----	-----	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順、子どもたちの様子

- ・葉っぱを使ってお料理を作るよと園庭に紅葉した落ち葉が落ちていることを伝え誘う。
- ・紙皿を保育者が持っている時から2名の子ども達が「何するの?」と興味を持っていたので紙皿を渡し、木の下落ち葉がたくさん落ちている場所に誘うと料理を始める。
- ・作り始めるとそれを見た他児も「何やってるの?」「私もやりたい」と保育者に声を掛ける様子があった。何を作ろうかと考え「カレー作る」など話し他にもお味噌汁、スパゲティ、アイスなど好きな食べ物をそれぞれのイメージを膨らませ作っていた。
- ・完成した料理を保育者や友だちに嬉しそうに見せながら、砂場のテーブルやタイヤの椅子に座ってテーブルを自分で作りトレイにのせて食べる仕草をしていた。

◆気づき

- ・紅葉した葉は、黄色や赤などいろいろな色があることを感じていた。
- ・落ち葉の他にも季節の花や木の枝などを子ども達が自分で見つけて料理に合うものを選び作っていた。
- ・秋の自然物と組み合わせ、砂場の砂をカレーライスのごはんに見立てるために使うなど自分のイメージを再現しようと工夫し作っていた。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・5（とてもよく達成できた）
- ・秋の自然物を見つけることや作る楽しさを感じることができた。
- ・植物（葉っぱや枝・花など）には様々な色、形、感触があることに気づいた。



実施例（葉っぱくらべ）

年齢	5歳児	人数	17人	季節	冬	場所	園、公園
----	-----	----	-----	----	---	----	------

実施内容

◆手順

- ・手作りお散歩バックを持って園外に散歩に行き、木の実や落ち葉を拾う。
- ・別日、友だちとどんな葉っぱを拾ったか、友だちの葉っぱとどんなところが違うか観察し合う。
- ・拾ってきた葉っぱをボンドでリースに付けクリスマスリースを作製する。

◆子どもたちの様子

- ・園外で落ち葉を拾う際には、「ここにこんなに大きい落ち葉があるよ!」「どんぐりはここに落ちているよ!」と落ちているものを伝えていた。
- ・友だちと拾ったものを観察する際には、「木の実落ちてたんだ。どこに落ちてたの?」「気が付かなかった。すごい!」「どっちが大きいかな。」「これは何色って言うんだろう。」などと、それぞれ拾ったものをじっくり見て思ったことを伝え合ったり、考えたりしていた。

◆気づき

- ・拾ってすぐと数日たってからは葉っぱの感じが違う。数日たつとカサカサ、割れやすい。

◆工夫した点

- ・ひとり一人自分の落ち葉入れ（お散歩バック）を持ち自分の物を拾い、制作にも使用する事ができた。
- ・観察する時間を拾った日にも、別日制作する前にも設けることで、自分たちでじっくり観察する事ができ、拾ってすぐと数日たってからの違いに気が付くこともできた。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・4（よく達成できた）
- ・保育園ではあまり触れることができない様々な葉っぱに沢山触れることができた。また、数日置いたことでの手触りの違いに子どもたちから気が付いていた。クラスの友だちと同じ日に一緒に拾っていても、同じものは拾えなかった。どこにあったの!と様々な種類がある事に気付くことができていた。

実施例（むしめがね探検隊）

年齢	3歳児	人数	11人	季節	秋	場所	公園
----	-----	----	-----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・前の週にウエストポーチと虫眼鏡を制作する。
ウエストポーチはチャック付きのビニール袋に油性ペンで絵を描き、虫眼鏡には台紙に型抜きした画用紙を糊で貼った。
- ・当日はポーチを着けて散歩に行き、公園で虫眼鏡を渡す。
- ・見つけた物をポーチに入れて、友達や保育者と見せ合う。



◆子ども達の様子

- ・ポーチを身に付け公園に向かう途中で、期待を高めながら歩く姿が見られた。木の実を探したり、葉っぱの色を教え合ったりしていた。
- ・公園で虫眼鏡を渡すと、すぐに覗きながらの探索が始まり、見つけた葉っぱや小枝をポーチに集め、友達や保育者に見せていた。友達と同じ物を探そうとする子もいた。
- ・空を見上げて雲の形や、木の上の葉っぱの色の変化に気付く子もいた。
- ・葉っぱを虫眼鏡で覗き、全部が見えるかどうかで大きさ比べをしていた。
- ・公園の木の管理番号のプレートに気付き、探し回っていた。



◆工夫した点

- ・子どもの両手が自由になるようにポーチは腰に巻き、虫眼鏡は手首に掛けられるようにした。
- ・「何があるかな？」など言いながら保育者も一緒に探索した。

◆課題

- ・集めた自然物を制作に使うなど、発見の先の活動に発展させたい。
- ・季節ごとに探検隊の戸外活動を設け、生き物や自然の変化に気付けるようにしていきたい。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・4（達成できた）
- ・虫眼鏡を覗くことでいつも見ているような自然物も集中して観察できた。自然物集めに宝探しや謎解きの要素が加わり、探索の楽しさが広がった。

年齢	3歳児	人数	5人	季節	秋	場所	公園
----	-----	----	----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・虫メガネの型にクレヨンで色を塗り、両面からパッキンテープで貼る。中央は透明で実物に似ているものができ、自分だけの虫メガネ!と意欲もわく。
- ・自分の立っている足元から始め、範囲を広げて虫メガネで見てみる。
- ・見方に慣れてきたら友達と一緒に範囲を決めて探検する。
- ・地面を見ていて何か見つけたら、友達を呼び皆で観察する。

◆子ども達の様子

- ・普段何気ない小石や草花にも驚き、自分の虫メガネでじっくり見ていた。
- ・「よく見える!」「虫が早く逃げちゃう!」などの声が聞こえた。ダンゴムシ、アリ、アフリカマイマイ、お花等を見る事ができた。
- ・紙の虫めがねでも喜んでいたが、本物の虫メガネを見せると興味津々。皆で一緒に覗き込み、「大きく見える!」「虫の顔が大きい!」「お花の色がきれい!」など驚きと発見があった。

◆気づき

- ・葉っぱの下に虫がたくさん隠れているのを見つけ、なぜそこにいるのか、温かいからではないかと自分たちで考えて答えを出していた。

◆工夫した点

- ・虫メガネをクレヨンで色付けたり、パッキンテープを貼って透明感を出したりしてオリジナルを作った。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・4（よく達成できた）
- ・本物の虫メガネで見える事が分かれると、虫だけでなく草花や石等、自然の持つ美しさを発見して楽しんだ。いつもは何気なく見つけている物を探すと言う目的から虫の生息についても考えるようになっていった。季節が寒くなり始め虫が少なかった。



実施例（さいころ色あつめ）

年齢	5歳児	人数	12人	季節	秋	場所	公園付近
----	-----	----	-----	----	---	----	------

実施内容

◆準備

- ・10色のカード…緑色から茶色までの10色
- ・お散歩バック…1人1個
- ・模造紙…落ち葉を貼る（色合わせ表）

◆手順

- ・2人1組になり、葉っぱの色とカードの色を照らし合わせながら10色の葉っぱを集める。
- ・園に戻った後、色ごとに分類し、模造紙に貼る。
- ・気付いたこと、感じたことを話し合う。

◆子どもたちの様子

- ・ペアの友だちとどの色が一番近いか相談しながら、葉っぱ探しを楽しんでいた。
- ・途中、虫を見つけて観察したり、触ったりする姿も見られた。

◆気づき

- ・模造紙に分類して貼ると、**1種類の緑と赤、黄・茶が多いこと**が分かり、「落ち葉だから茶色が多いんじゃないか」「葉っぱが落ちると茶色くなりパリパリになる」「秋だから黄色や赤色の葉が多い」など、**自分なりに考えたことを話していた。**

◆ねらいの達成度、その理由

- ・5（とてもよく達成できた）
- ・全員が自然の色探しを楽しむことができた。
- ・色だけでなく、**手触りや大きさ・形にも気付く姿**が見られた。
- ・振り返りで、自分の考えたことを話したり、友だちの考えを聞いたりすることでより考えが深まった。



実施例（3R大作戦）

年齢	5歳児	人数	15人	季節	夏	場所	保育室
----	-----	----	-----	----	---	----	-----

実施内容

◆手順

- ・各家庭から、空き箱やペットボトル、キャップ等を集める。
- ・好きな廃材で自由に制作をする。

◆子どもたちの様子

- ・自分たちの好きな廃材を使い自由に作っていく中で友だち話し合いながら作り上げている姿も見られた。

◆気づき

- ・普段捨ててしまうもので、何ができるか考え、作り、形になり**子ども達同士、すごいね！など褒め合う姿**が見られた

◆工夫した点

- ・子ども達が自由に作れるよう、**廃材をたくさん集められる環境作り**をした。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・3（達成できた）
- ・準備の段階からみんながわくわくしていて、たくさんの廃材をキラキラした目で見ながら、楽しんで作り上げていた。

年長児交流会での実施例

小学校入学に向けて、近隣の保育園同士の年長児が交流する機会と、ドッジボールやリレーの後に、あそびを実施した3事例です。

自然のビンゴ

年齢	5歳児	参加園	3園	季節	秋	場所	公園
----	-----	-----	----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・9マスのビンゴカードを職員が作成する。
- ・当日遊び方の説明をする。
- ・1人1枚カードを持ち、公園内で探す。
- ・自然物を見つけたら職員に報告し、カードにスタンプかシールをもらう。

◆子どもたちの様子

- ・自園の友達だけでなく、**他園の子どもたちとも一緒に自然物を探したり、どこにあったか教えあったりする姿があった。**
- ・秋の自然物をテーマにビンゴカードを作成した。秋の終わりでどんぐりが少なく、難易度が上がり年長児にはちょうど良かった。

◆気づき

- ・赤、黄、茶色など落ち葉の色の判断は子どもたちそれぞれで違いがあって面白かった。
- ・ビンゴカード以外の自然物を発見し、職員や子どもたちに共有する子どももいた。今回は職員がカードを作成したが、**次回は子どもたちから意見を聞き、一緒にカードを作成するのも楽しそうだ**と思った。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・5（とてもよく達成できた）
- ・行き慣れている公園だったが、改めて身近な自然界の様々な種類の存在に気づき、発見をまわりの友達や職員と共有できた。
- ・自園だけでなく**他園の子どもたちと一緒にいったことで活動がさらに盛り上がり**、自然物を見つける楽しさをより感じられたと思う。



ぜんぶみつけれられるかな？
みつけたらせんせいにスタンプかシールをもらってね！

さいころ色あつめ

年齢	5歳児	参加園	2園	季節	冬	場所	公園
----	-----	-----	----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・大型さいころを振って出た色の葉っぱをさがし、色別に白い模造紙に貼る。
- ・みんなで見て、色や形の違いを言葉にする。

◆工夫した点

- ・**葉っぱを貼った模造紙を参加園と分け、園内で展示し、参加していない園児や保護者にも実施内容を知らせた。**

◆ねらいの達成度、その理由

- ・5（とてもよく達成できた）
- ・葉っぱの微妙な色合いに気づくことができた。
- ・自然の色のきれいさを発見することができた。
- ・**友達の意見を聞き、自分の意見を話す対話**ができた。

公園ありがとうの日

年齢	5歳児	参加園	3園	季節	冬	場所	公園
----	-----	-----	----	----	---	----	----

実施内容

◆手順

- ・ごみ袋を用意し、時間を決めて全員でごみ拾いを行う。
- ・拾い集めたごみを紹介し、分別を確認する。
- ・公園がきれいになったこと、またここで一緒に遊ぼうと伝えた。

◆子どもたちの様子

- ・事前に職員が公園を見回った時には、あまりごみがないと感じたが、**子どもたちは一生懸命ごみを探し、想定よりも多い量**を見つけた。

◆ねらいの達成度、その理由

- ・3（達成できた）
- ・いつも遊ぶ公園で時々ごみがあるが、衛生的なこともあり、積極的なごみ拾いは今まで働きかけていなかった。今回行ったことで、半月後に同じ公園に行ったとき、**子どもたちが自らごみ拾いを始めた。**
- ・日常的にごみの分別は呼びかけているが、**さらに意識する機会**にもなった。